

京 都 大 学

第 23 号

神楽歌「杓」の歌詞の異同とその解釈	田林 千尋	(二)
——平安期写譜本と古今和歌集・古今和歌六帖を対象に——		
『風雅集』真名序の「警策」について	中村 健史	(二三)
——陸機「文賦」からの影響——		
伝兼好筆『伊勢物語』の勸物について	舟見 一哉	(三三)
中院通茂『未来記雨中吟聞書』翻刻(三)	中村 健史他	(六一)
豫楽院 近衛家熙公年譜稿(一)	緑川 明憲	(七三)
平成二十一年度 京都大学国文学会 研究発表要旨		(九九)
横光利一「蠅」におけるラ・フォンテーヌ『寓話』の 受容と変容について	小鹿原敏夫	(1)

前々号(第21号) 目次

連用形とカ(下)

蔦 清行

『却癡忘記』の用語の一斑

山中 延之

京都大学
国文学部

『和漢々和』翻刻と解題(上)

楊 昆鵬

中院通茂『未来記雨中吟聞書』翻刻(一)

中村 健史他

平成二十年度

京都大学国文学会 研究発表要旨

前 号(第22号) 目次

天正本『太平記』増補方法小考

——卷四「呉越戦の事」増補漢詩について——

森田 貴之

京都大学
国文学部

『和漢々和』翻刻と解題(下)

楊 昆鵬

中院通茂『未来記雨中吟聞書』翻刻(二)

中村 健史他

受身・使役の助動詞の意味用法について

——『万葉集』と『元朝秘史』にみられる用

例をめぐって——

BAASANKHUU G

平成二十年度 修士論文要旨

投稿規定

- 一、本誌は、投稿資格を設けることなく、国語学・国文学に関する論文を広く募集します。
- 一、投稿論文は四百字詰原稿用紙にして四十枚（一万六千字）程度を一応の目安とします。
- 一、原稿の採否は査読委員会が決定いたします。
- 一、原稿の締切は毎年二度、六月・十二月の末日とします。
- 一、ワープロを使用した場合は、ソフト名（機種）・四百字詰原稿用紙に換算した原稿枚数を明示の上、フロッピーディスクと印字した原稿を同封してお送りください。フロッピーディスクと印字した原稿は返却いたしません。
- 一、四百字詰原稿用紙二枚程度の要約文を添付してください。
- 一、論文掲載の場合は本誌三部を贈呈いたします。それ以上の本誌・抜刷については実費を申し受けます。
- 一、宛先は以下の通りとします。
千六〇六一八五〇一 京都市左京区吉田本町
京都大学大学院文学研究科国語学国文学研究室内「國文學論叢」編集部

平成二二年三月三十一日 印刷
平成二二年三月三十一日 発行

京都大学國文學論叢 第二三号

編集発行者

京都大学大学院文学研究科

国語学国文学研究室内

「國文學論叢」編集部

千六〇六一八五〇一

京都市左京区吉田本町

電話 〇七五―七五三―二八二四

印刷者

京都市南区吉祥院池ノ内町10

明文舎印刷株式会社

表紙題字『易林本節用集』より

（京都大学文学部蔵慶長板）